

1 「連携地域別政策展開方針」について

道では、地域の総力により地域づくりを進めるため、社会経済情勢の変化に対応し、令和3年度に見直しを行った北海道総合計画[2021改訂版]（令和3年10月決定）や、第2期北海道創生総合戦略改訂版（令和3年度12月決定）を踏まえ、市町村や地域の関係者の参画を得て、令和3年度（令和4年1月）から概ね4年を推進期間とする連携地域別政策展開方針を策定しました。

本方針は、北海道地域振興条例に基づき、地域振興を効果的に推進するため、北海道総合計画が示す政策の基本的な方向に沿って、6つの連携地域ごとに策定する地域計画であり、日高地域は「道央広域連携地域」に位置付けられています。

また、本方針は第2期北海道創生総合戦略改訂版の「地域戦略」としての位置付けを併せ持つものです。

2 方針の構成について

○地域のめざす姿

総合計画の終期である令和7年度を
 目途にめざす地域の姿

○これまでの取組と課題

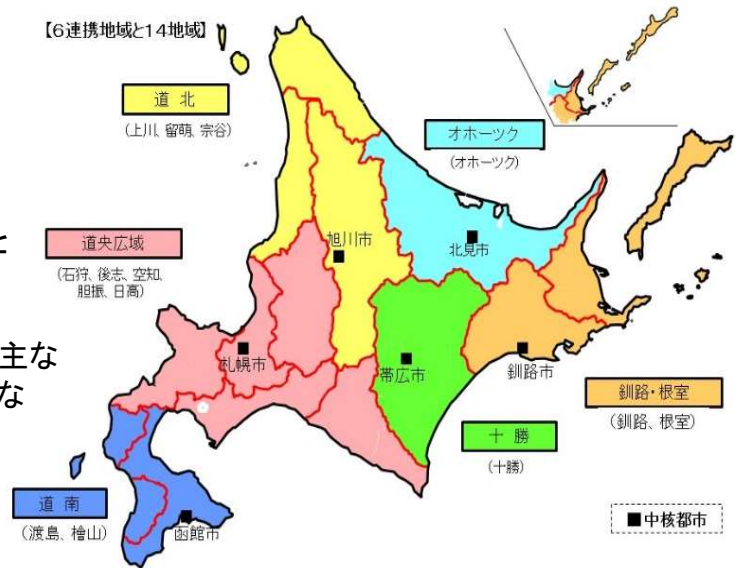
連携地域等におけるこれまでの取組と
 課題

○主な施策の展開方向

方針の推進期間における連携地域の主な
 施策の方向、振興局所管地域の重点的な
 施策の方向

○地域重点政策ユニット

各地域で重点的に取り組む複数の
 プロジェクトで構成



3 日高地域の地域重点政策ユニット

(1) 「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト

「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト

【推進エリア】日高地域
 【主な実施主体】道、市、町、民

目的
 日高地域は全国生産の約8割を占める軽種馬生産に加え、全道一の生産を誇るトマトやピーマンのほか、イチゴ、肉用牛、コンブ、鮭（銀型）、ウニ、マツカワなど様々な農水産物が生産されています。また、人工林の大半を占めるカラマツ・トドマツが利用期を迎えています。このような恵まれた農林水産物の生産振興対策を図るとともに、「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大に取り組みます。

施策展開

【施策】

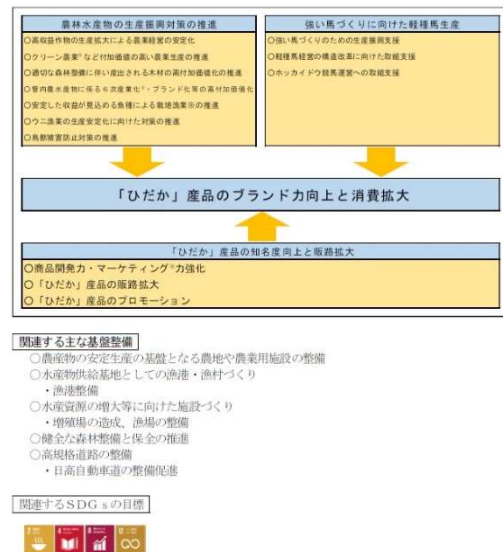
- 農林水産物の生産振興対策の推進
- 「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大
- 強い馬づくりに向けた軽種馬生産

(プロジェクトの重要業績評価指標 (KPI))

- ウニの単価向上 8,600円/kg (01) → 11,100円/kg (07)
- 軽種馬生産規模の維持 5,873頭/年 (01) → 5,900頭/年 (07)

<施策ごとの主な取組方向>

- 農林水産物の生産振興対策の推進
 - 高収益作物の生産拡大による農業経営の安定化
 - クラン農業*など付加価値の高い農業生産の推進
 - 適切な森林整備に伴って産出される木材の高付加価値化の推進
 - 管内農水産物に係る6次産業化*・ブランド化等の高付加価値化
 - 安定した収益が見込める魚種による栽培漁業*の推進
 - ウニ漁業の生産安定化に向けた対策の推進
 - 鳥獣被害防止対策の推進
- 「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大
 - 商品開発力・マーケティング力強化
 - 「ひだか」製品の販路拡大
 - 「ひだか」製品のプロモーション
- 強い馬づくりに向けた軽種馬生産
 - 強い馬づくりのための生産振興支援
 - 軽種馬経営の構造改訂に向けた取組支援
 - ホッカイドウ競馬運営への取組支援



(2) 「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト

「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト

【推進エリア】日高地域
【主な実施主体】国、道、市町村、民間

目的

日高地域では、地域を支える基幹産業である一次産業をはじめとする各産業で人材不足が課題となっています。
これらの課題に対応するため、各産業における人材確保・育成の対策を講じるほか、将来の人材を確保するため、教育機関と連携・協働を進めるとともに、移住・定住の促進に向けた住環境の整備により転出の抑制や転入の増加を図り、持続可能な産業振興を目指します。

施策展開

【施策】

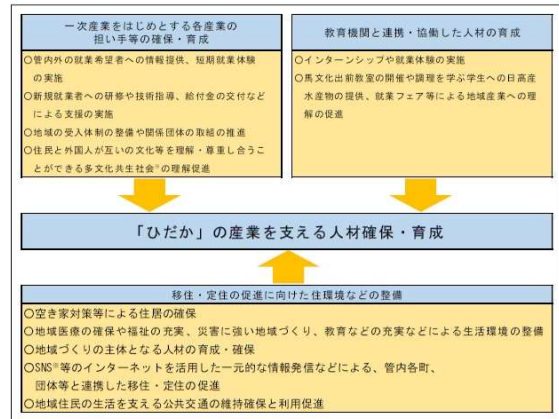
- 一次産業をはじめとする各産業の担い手等の確保・育成
- 教育機関と連携・協働した人材の育成
- 移住・定住の促進に向けた住環境などの整備

(プロジェクトの重要業績評価指標 (KPI*))

- 新規就業者数(農業) 14人 (R1) → 25人 (R7)
- 新規就業者数(漁業) 11人 (R2) → 14人 (R7)

<施策ごとの主な取組方向>

- 一次産業をはじめとする各産業の担い手等の確保・確保
 - 管内外の就業希望者への情報提供、短期就業体験の実施
 - 新規就業者への研修や技術指導、給付金の交付などによる支援の実施
 - 地域の受入体制の整備や関係団体の取組の推進
 - 住民と外国人が互いの文化等を理解・尊重し合うことができる多文化共生社会[※]の理解促進
- 教育機関と連携・協働した人材の育成
 - インターンシップや就業体験の実施
 - 馬文化出前教室の開催や調理を学ぶ学生への日高産水産物の提供、就業フェア等による地域産業への理解の促進
- 移住・定住の促進に向けた住環境などの整備
 - 空き家対策等による住居の確保
 - 地域医療の確保や福祉の充実、災害に強い地域づくり、教育などの充実などによる生活環境の整備
 - 地域づくりの主体となる人材の育成・確保
 - SNS[※]等のインターネットを活用した一元的な情報発信などによる、管内各町、団体等と連携した移住・定住の促進
 - 地域住民の生活を支える公共交通の維持確保と利用促進



関連する主な基礎整備

- 農産物の安定生産の基盤となる農地や農業用施設の整備
- 水産物供給基地としての漁港・漁村づくり
 - ・漁港整備
 - 水産資源の増大等に向けた施設づくり
 - ・増養殖場の造成、漁場の整備
 - 健全な森林整備と保全の推進
 - 高規格道路の整備
 - ・日高自動車道の整備促進

関連するSDG sの目標



(3) 「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト

「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト

【推進エリア】日高地域
【主な実施主体】国、道、市、民間

目的

日高地域は、軽便馬生産による広大な牧場風景に加え、ユネスコ世界ジオパーク[※]のアボイ岳や、国立公園化が予定されている日高山脈摩訶庵国定公園、日高山脈から摩訶庵に連なる変化に富んだ海岸線が一体となった独特な景観が見られるなど、豊かな自然環境を有しています。また、アイヌ文化が継承され、多様な食材の宝庫となっています。
これらの優れた地域資源を最大限活用し、民間事業者等とも連携しながら、「ひだか」ならではの魅力発信、広域観光の展開などにより、地域の活性化を図ります。

施策展開

【施策】

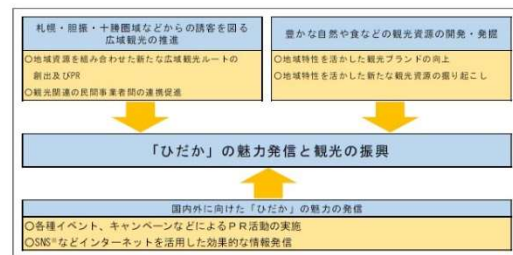
- 札幌・札幌・十勝圏域などからの誘客を図る広域観光の推進
- 豊かな自然や食などの観光資源の開発・発掘
- 国内外に向けた「ひだか」の魅力発信

(プロジェクトの重要業績評価指標 (KPI*))

- 宿泊客延数 230千人 (R1) → 296千人 (R7)

<施策ごとの主な取組方向>

- 札幌・札幌・十勝圏域などからの誘客を図る広域観光の推進
 - 地域資源を組み合わせた新たな広域観光ルートの創出及びPR
 - 観光関連の民間事業者間の連携促進
- 豊かな自然や食などの観光資源の開発・発掘
 - 地域特性を活かした観光ブランドの向上
 - 地域特性を活かした新たな観光資源の掘り起こし
- 国内外に向けた「ひだか」の魅力発信
 - 各種イベント、キャンペーンなどによるPR活動の実施
 - SNS[※]などインターネットを活用した効果的な情報発信



関連する主な基礎整備

- 高規格道路の整備
 - ・日高自動車道の整備促進
- 安心で快適な旅ができる交通ネットワークの整備
 - ・日高自動車道の整備促進
 - ・道道の整備促進

関連するSDG sの目標

